

項目	内容
名称	バナバ、オオバナサルスベリ [英]Banaba [学名]Lagerstroemia speciosa (L.) Pers., Lagerstroemia flos-reginae
概要	バナバは、インドネシアやタイなどの熱帯、亜熱帯地域に分布するミソハギ科の常緑高木。フィリピンでは糖尿病を治療する民間薬として飲用されている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全木：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	
分析法	・ valoneaic acid dilactoneがフォトダイオードアレイ検出器を装着したHPLCにより分析されている (PMID:12875243)。
有効性	
ヒトでの評価	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	<p>RCT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐糖能異常または2型糖尿病患者62名 (試験群32名、平均58.9±8.9歳、韓国) を

対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、朝鮮ニンジン、クワ葉抽出物、バナバ葉抽出物混合物 (1:1:1含有) を6 g/日、24週間摂取させたところ、血漿ICAM-1の低下が認められた。一方、空腹時血糖値、インスリン濃度、HOMA-IR、HbA1c、経口糖負荷試験の結果 (血糖値、インスリン濃度、インスリン感受性)、VCAM-1、酸化LDL、Lp(a)、PAI-1、高感度CRPに影響は認められなかった ([PMID:22474520](#))。

・軽度の耐糖能異常がある成人45名 (韓国) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、バナバ葉抽出物300 mg/日 (15名、平均47.00±4.01歳) を12週間摂取させたところ、HbA1cの上昇抑制が認められた。一方、体重、BMI、腹囲、ウエスト/ヒップ比、収縮期血圧、拡張期血圧、血糖値、インスリン濃度、HOMA-IR、血中脂質 (TG、TC、LDL-C、HDL-C) に影響は認められなかった ([PMID:24873894](#))。

生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
[\(PMID:12875243\) 薬学雑誌 . 2003 Jul;123\(7\):599-605.](#)
(1999266654) 薬理と治療. 1999;27(5):829-35.
(1995177902) 薬理と治療. 1994;22(11):4609-11.
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
[\(PMID:22474520\) Evid Based Complement Alternat Med.](#)
[2012;2012:735191.](#)
[\(PMID:16415120\) Drug Metab Dispos. 2006 Apr;34\(4\):577-82.](#)
[\(PMID:24873894\) Food Funct. 2014 Jul 25;5\(7\):1621-30.](#)
(101) Philipp J Sci. 1987;116(4):361-75.